

作成日 2009

改訂日 2012

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	RIPA Buffer (10X)
製品コード	9806
整理番号	S004
会社名	CSTジャパン株式会社
住所	東京都千代田区内神田1-6-10 笠原ビル
電話番号	03-3295-1630
FAX番号	03-3295-1633
推奨用途及び使用上の制限	ライフサイエンス研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理的・化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 水反応可燃性化学品 区分外 酸化性液体 区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分外 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 区分2 水生環境慢性有害性 区分2 上記で記載がない危険有害性は、分類されない。

GHSラベル要素
シンボル

注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激 水生生物に毒性 長期的影響により水生生物に毒性
注意書き 安全対策	保護眼鏡、保護面を着用すること。 取扱い後はよく眼を洗うこと。 環境への放出を避けること。
救急措置	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外れる場合は、その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合、医師の診断、手をとる。 漏出物は回収すること。
保管 廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を廃物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別		混合物		
化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	10.00%	C ₈ H ₁₇ C ₆ H ₄ (OCH ₂ CH ₂) _n OH	(7)-172	

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

	改正前(2009年9月30日まで)	改正後(2009年10月1日以後)
第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)	ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル(政令番号:308)(10.00%)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移す。休息させること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを装着している場合は外すこと。外す際は、目を閉じず、慎重に行うこと。

飲み込んだ場合

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

周辺火災の種類に応じて適切な消火剤を使用すること。

特有の危険有害性

この製品自体は、燃焼しない。加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性、腐食性及び/又は環境汚染性がある。

特有の消火方法

周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動させること。

火災の種類に応じて適切な消火剤を使用すること。消火後も、大量の水を用いて十分に冷却すること。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、空気呼吸器、化学用る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏する。
関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(8. ばく露防止措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚へ避ける。
風上に留まる。
低地から離れる。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こする。

回収、中和

環境中に放出してはならない。
少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で覆って密閉できる空容器に回収する。いる。
危険でなければ漏れを止める。

封じ込め及び浄化の方法・機材

二次災害の防止策

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料でチックシートで飛散を防止し、雨に濡ら排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載体換気を行う。

安全取扱い注意事項

眼に入れないこと。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避ける；
飲み込みを避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
皮膚との接触を避けること。
環境への放出を避けること。

保管

接触回避
技術的対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管場所には危険物を貯蔵し、又は取
要な採光、照明及び換気の設備を設け
『10. 安定性及び反応性』を参照。
酸化剤から離して保管する。
包装、容器の規制はないが密閉式の
入れる。

混触危険物質
保管条件
容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的)	
		日本産衛学会 (2008年版)	A (20
ポリオキシエチレンオクチル フェニルエーテル	未設定	未設定	未設定

設備対策		本製品を貯蔵ないし取扱う作業場にはシャワーを設置すること。 空気中の濃度を制御するには、一般遡ある。
保護具	呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適当な呼吸すること。
	手の保護具 眼の保護具	適当な手袋を着用すること。 眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通ル型）
	皮膚及び身体の保護具	顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	形状 色 臭い pH	液体 無色 無臭 データなし -5℃
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		不燃性
燃焼性又は爆発範囲		不燃性
蒸気圧		データなし
蒸気密度(空気=1)		20.8
比重(密度)		1.039 (20℃)
溶解度		水、エタノール、アセトンに可溶
オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)		データなし
燃焼性(固体、ガス)		該当しない
粘度		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性		通常の保管および取扱いの条件におしる。
危険有害反応可能性		知見なし
避けるべき条件		知見なし
混触危険物質		知見なし
危険有害な分解生成物		一酸化炭素、二酸化炭素を含む毒性のする。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	成分の急性毒性推定値は、ポリオキシフェニルエーテル 1700mg/kg、デオキウム 1370mg/kg、ピロリン酸ナトリウムナジン酸ナトリウム 320mg/kg塩化ナト3000mg/kg水 99999mg/kg(仮定値)で性毒性推定値が4789.1mg/kgのためE
	経皮 吸入(蒸気)	データがなく分類できない データ不足のため分類できないとした。

皮膚腐食性／刺激性 眼に対する重篤な損傷／刺激性	吸入(ミスト)	データがなく分類できない データ不足のため分類できないとした。 ポリオキシエチレンオクチルフェニルエ 酸ナトリウムが区分2Aであり、区分2Aの 計が濃度限界(10%)以上のため区分2A
呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 吸引性呼吸器有害性		データがなく分類できない データがなく分類できない データがなく分類できない データがなく分類できない データがなく分類できない データ不足のため分類できないとした。 データがなく分類できない データがなく分類できない

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエ 区分1の成分濃度×毒性乗率×10の濃 界(25%)以上のため区分2とした。
水生環境慢性有害性	ポリオキシエチレンオクチルフェニルエ 区分1の成分濃度×毒性乗率×10の濃 界(25%)以上のため区分2とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方 従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産 業者、もしくは地方公共団体がその処理 にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業 有害性を充分告知の上処理を委託す 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直 たり、そのまま埋め立てたり投棄するこ
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、地 方自治体の基準に従って適切な処分 空容器を廃棄する場合は、内容物を完 と。

14. 輸送上の注意

国際規則	海上規制情報 航空規制情報	非危険物 非危険物
国内規制	陸上規制 海上規制情報 航空規制情報	非該当 非危険物 非危険物
特別の安全対策		輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等 かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の漏れを生じないように積み込み、荷崩れを行う。
重量物を上積みしない。

緊急時応急措置指針番号

15. 適用法令

化審法

第3種監視化学物質(法第2条第6項) [3, 3, -テトラメチルブチル)フェニル]ポリ(オキシエチレン)(別名ポリ(オキシチルフェニルエーテル))

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

第1種指定化学物質(法第2条第2項、表第1)(ポリ(オキシエチレン)=オクタテル)

16. その他の情報

連絡先

参考文献

CSTジャパン株式会社

NITE GHS分類公表データ

EU CLP Regulation, AnnexVI

CHEMWATCH社 GHS-MSDS

RTECS(2008)

Cell Signaling Technology 製品MSDS

記載内容は、一般に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、現時点の技術に関する全ての情報が検討されていませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いであります。特殊な取り扱いの場合に、ご留意をお願いします。

2023年09月29日
2023年04月02日

ビルディング10階

2A

対象外か分類で

洗うこと。次に、コ
せる場合は外す

当てを受けるこ

を受けた専門の廃

CAS番号
9036-19-5

月1日から)
ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル(政令番号: 408) (10.00%)

加し、呼吸しやす

。

。ンタクトレンズを着
と。その後も洗淨

当てを受けるこ

。

刊を用いる。

る。
は毒性のガスを発

速やかに安全な

孔いる。
器を冷却する。

③保護衣を着用す

洩区域として隔離

④措置及び保護
⑤の接触や吸入を

さないように注意

⑥吸収し、あるいは
⑦後で廃棄処理す

⑧覆い更にプラス
さない。
⑨場所への流入を

⑩の設備対策を行

⑪の局所排気、全

⑫こと。

⑬り扱うために必
⑭ける。

⑮皮損しないものに

⑯ばく露指標)
⑰CGIH
⑱09年版)

洗眼器と安全

正換気で十分で

器保護具を着用

眼鏡型、ゴーグ

ては安定であ

リヒュームを発生

エチレンオクチル
シコール酸ナトリ
1000mg/kg、バ
リウム
あり、混合物の急
区分外とした。

一テル、ピロリン
の成分濃度の合
々とした。

一テルが区分1、
濃度合計が濃度限

一テルが区分1、
濃度合計が濃度限

自治体の基準に

廃棄物処理業
を行っている場合

者等に危険性、
る。
接河川等に排出し
とは避ける。

関連法規並びに地
を行う。
完全に除去するこ

のないことを確

器の破損、腐食、
の防止を確実に

(α -[1, 1,
- ω -ヒドロキシ
シエチレン)=オク

施行令第1条別
ニルフェニルエー

及び自社情報に
における化学又は
しているわけではあ
)ではありません
を対象としたもの
よ、この点のご配